

# 実現しつつある男女共同参画社会

## ～心地いい変化～

男女共同参画社会基本法が施行されて、もうすぐ3年になります。

「男は仕事・女は家事育児」といった昔からの考え方にも、年々変化が見られ、女と男の心地いいパートナーシップが築かれつつあります。

今回は、無理なく自然体で男女共同参画を実現されている3人からお話を聞きました。



▲南摩中学校の運動会。応援合戦に女子生徒の姿が増えました。

# かれんと

## No.20

2002.3.25

Current:カレント

時代の流れあるいは  
新しい潮流

## 男女共同参画教育は自然体で

安生 美保子さん(南摩中学校校長)

市内の中学校でただ1人の女性校長を訪ねて南摩中学校へ。校内に生徒たちの澄んだ混声合唱が響く中、私たちをにこやかに迎えてくださった安生先生は、凛とした雰囲気です。

「家族の協力もあり、34年間仕事が続けられました。また、職員のみなさんの協力をいただいて、教育に携わっています。以前は女性ということだけで、肩たたきはあったでしょうが、先輩たちが道を拓いてくださいました。まだまだ女性校長は少ないのですが」

**Q** 男女共同参画になっていると感じるころは?

男女共同参画の教育は、自然体で行われています。ここ10年、男女平等教育への取り組みが進んでいます。性別を問わず、各場面で活躍していますし、男女混合名簿も普通になっています。学校行事でも、男女共に生き生きと参画しています。

**Q** 改善したいところは?

栃木県は、10代の中絶率が全国でワースト1位。性教育は重点課題の1つです。子どもたちが傷つ



「家族の協力があって仕事が続けられています」と話す安生校長

かないように、社会のシステムを変えていく必要があると思います。生徒を通して家族を見ると、まだまだ、嫁、妻であることでの負担が多く、大変なところがあるようです。

今後の教育改革で、内容・時間など、教育課程も大幅に変わります。私は、教育目標の「英知・友愛・躍進」の精神を大切にしながら、日々、自然体で生徒と共に過ごしたいと思っています。

## 社会全体で支え合う介護

宇野木 和子さん(みなみ町)



▶写真中央・宇野木さん

宇野木さんは、90歳になる夫の母親を介護しています。\*介護度は4。現在、月曜から土曜日まではデイサービスを、月4〜5回はシヨートステイを利用しています。本人は、「学校へ行く」と、喜んでデイサービスに通っています。

「夫と2人の息子、介護している義母との5人家族です。以前は仕事に行く前に義母をデイサービスに送っていたため、時間との戦いでイライラしましたが、痴呆が進んだ2年前に思い切って仕事を辞めました。今は精神的にゆとりを持って介護ができません。また、デイサービスを利用している時間帯に、無理のない程度に仕事を始めました」

※介護を必要とする指数。5が最重度です。

**Q 男女共同参画になつていて感じるころは?**

夕方デイサービスセンターに迎えに行き、家に連れて帰ってから目が離せません。でも、夫も帰宅後は寝かせてくれたり、できることはしてくれれます。深夜の徘徊

など、子どもたちも遅くまで起きて見てくれますので、安心です。家族全員で協力し合って看ているので、ストレスはあまり感じません。

訪問看護師さんからのアドバイスを、2年前から「介護者の会」に参加するようになりました。同じように痴呆の家族を介護している人の集まりで、さまざまな情報を交換できたり、1人で抱え込まずに話を聞いてもらえる場があることは、とてもいいことです。

**Q 改善したいころは?**

「介護者の会」に来られない人も大勢いると思います。ですから、電話で相談できるころがあるといいと思います。イライラしながら暮らしているのは、良くないです。ね。「介護者の会」に来ている人は、積極的にさまざまなサービスを利用して、上手にストレスを解消しています。私たち夫婦もシヨートステイを利用して、たまには出かけたりしています。

※栃木県西健康福祉センター(旧鹿沼保健所)内「心の健康相談」では電話相談を受けています。

☎643125

毎月第4木曜日(要予約)

午後1時〜3時

相談日以外も相談に応じます。

## 家族お互いに自立しながら協力

田野井 花子さん(富岡)



▶加工所での田野井さん

田野井さんは、農産加工所の指導員をしていましたが、通勤に時間がかかるので、5年前に加工所を宅地内に作り直しました。保健所の許可を受け、現在は味噌や饅頭などを作っています。

「1年前から即売所で販売も始めました。『家族協定』といった改まったものはありませんが、役割が自然と決まり、協力し合っています」とのこと。夫は農業収入、妻は加工所収入、母は年金と、それぞれ経済的にも自立しています。

**Q 男女共同参画になつていて感じるころは?**

女性でも農機具の操作はできません。夫が腰痛の時など、私がコン

バインで稲刈りをして、夫が営農組合へ運んでいます。私たちの区域の「富岡第一営農改善組合」は、新農業構造改善事業の一環として、昭和54年に設立。5軒の農家で構成され、機械の共同購入や、お互いに仕事を手伝ったり、一緒に旅行へ出かけたりしています。家庭の中の共同参画はもとより、地域の共同参画も進んでいますよ。

農家の嫁として、不平等を感じたことはありません。例えば、農作業の後、家に戻ると、祖母が子どもたちをみながら、鍋やポットに湯をわかし、お茶菓子もすぐ食べられるように用意しておいてくれました。料理についても、おいしい時は必ず「おいしい。よくできたね」と褒めてくれましたので、自然とおいしく作ろうという意欲がわきました。私を認めてくれていて感じました。

**Q 改善したいころは?**

農家は農業収入だけで生活できるようにになりたいです。

男女共同参画とは、性にとらわれず、お互いが自立し、自然体で協力し合い、責任を分かち合いながら、生き生きと暮らすことなのだと思えました。

# 今、男女共同参画は

～心地いい変化～

地区別  
懇談会より

男女平等の意識づくりの一環として、「男女混  
合名簿」の使用があります。  
鹿沼市では、平成8年9月号の「かれん」の  
アンケートによると、  
小学校22校中11校、中学校9校中2校が使用。  
それが平成14年2月の市教育委員会の調査では、  
小学校22校中22校、中学校9校中8校が使用と、  
大幅に増えました。

## 男女混合名簿の使用

平成11年4月施行の男女雇用機会均等法により、  
雇用に関して男女の格差が取り払われました。  
それに伴い職業名の変更がここ数年みられます。  
☆保母・保父↓保育士  
☆看護婦・看護士↓看護師  
☆保健婦・保健士↓保健師など

## 専門職の名称の統一

### ①固定的性別役割分担意識は

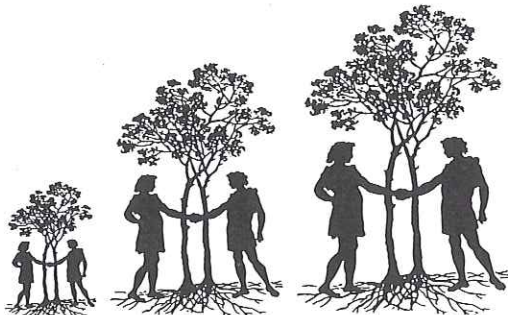
☆共働きです。妻も働いていた方が輝いているし、家事  
も分担するのは、当然。今は「女だから、男だから」  
という時代ではなくなりました。  
☆家事は、一定のルールを作ってどちらがやってもいい  
と思います。  
☆男性も子育てできる世の中にならないと、真の男女共  
同参画とは言えません。  
☆夫婦で参加し、たいへん勉強になりました。性別にと  
らわれず、お互い助け合って生活することが大切です。

### ②育児休業制度の活用は

☆育児への男性の関わりは企業の理解を図ることが必要。  
☆制度は整備されましたが、現実的には取りにくいです。  
会社側の理解が不可欠だと思います。  
☆育児休業取得後会社復帰をスムーズにするため、メー  
ルで情報交換したり、時事感覚を磨いたりしています。

### ③地域における男女共同参画は

☆女性の自治会参加は、地域で女性の意見を反映させる  
ため、ぜひとも必要です。副会長の1人は女性を選出  
したらどうでしょうか？  
☆地域の女性リーダーを養成し、活躍できるように。  
☆4月からほとんどの学校で、土・日が休みになります。  
子どもたちに、児童館などで遊びや学びの体験をさせ  
るためのボランティア活動に女性も男性も参加してほ  
しいと思います。



社会的な地位・名声が高く、紳  
士・温厚と思われる人でも、妻に  
暴力をふるう人がいます。どのよ

DVにはあらゆる暴力が含まれ、  
①身体的暴力②言葉の暴力③心理  
的暴力④性的な暴力⑤経済的な暴  
力などがあります。特徴的なのは、  
男が偉い、男は女より優位で、自  
分の思いどおり支配できる、言い  
なりになるのは女・子どもだとい  
う考えが根底にあり、男性から女  
性に対して行われる暴力であるこ  
とです。女性を1人の人間として  
認めない、男性優位、男は外、女は  
内と決めつけるジェンダー（社会  
的・文化的に作られた男女の性差）  
がDVを生んでいると言えます。

一人ひとりを大切にし、尊重し、  
義務や責任を果たし、迷惑をかけ  
ないようにするという家庭教育が  
大切です。善悪をはじめ基礎的な  
ことは家庭で教え、愛情ある家庭  
を築き、お互いに高め合い、助け  
合い、尊重し合う社会づくりをす  
ることが肝要なのです。

34・6%は、父親を大嫌いとい  
って恐れ、チャンスがあれば、殺  
してやりたいとさえ思っているそ  
うです。DVを受けている本人は、  
トラウマ（精神的な外傷）を抱え、  
孤立化し、暗く心を閉ざし、人間  
そのものをためにされたりしま  
す。家庭の中でDVがあると、  
子どもは学校に行って、他人を差  
別したり、いじめたりします。

DV（ドメスティック・バイオ  
レンス）の被害を現実を受けてい  
る女性は少なくありません。アメ  
リカでは、暴力を受けている6人  
に1人、日本では20人に1人が、  
身の危険を感じ、最悪の場合、殺  
されているのです。



のぶこ  
講師 小川 暢子さん  
(ウイメンズハウスとちぎスタッフ)

## 「ウイメンズハウスとちぎ」の取り組み

うな時でも、「暴力はいけないこ  
と」と、認識することが大切です。  
DVには、暴力のサイクルが  
あり、開放期（機嫌よく、愛情表  
現したりする）→緊張期（怒り、  
欲求不満がたまり、不機嫌になる）  
→爆発期（つまらないことをきつ  
かけにして怒りを爆発させ、暴力  
をふるう）、これを繰り返します。  
2000年「ドメスティックバ  
イオレンスさかい」の調査による  
と、DVを目撃している子ども

女性の海外研修に参加して

人間らしく輝いていた

須田 陽子(北赤塚町)

世界を震撼させた米国のテロ事件からわずか2週間後に出発した、フランス・スウエーデンでの研修は、私にとって大きな意識改革の源となりました。

訪れた両国は、どちらも長い歴史と豊かな自然を大切にしており、古い考えと新しい意識を持つ人々同士が、うまく調和した魅力的な国でした。

美しい緑と歴史の重みを語る建造物は素晴らしく、そこで働く女性たちの自信に満ちあふれた姿は、正にジェンダーにとらわれず、自分の行動に誇りを持ち、人間らしく輝いていました。一人ひとりが、個々の人格と実力を認め合って、生活していました。私もそうありたいと思う研修でした。



▲須田 陽子さん(右)と兼目 千恵子さん(左)

手を携えていける社会をめざして

兼目 千恵子(上殿町)

研修のため、フランス・スウエーデンに出発したのは、世界中を震撼させた米国の同時多発テロの騒ぎの中でした。

私は、何よりも世界が平和であることを祈らずにはいられませんでした。

女性が各分野で積極的に社会参画している両国で、施設研修やホームステイを通して、個人の人格を尊重し、人を思いやる心のゆとり、そして、仕事に対する喜々とした姿は、誇りと自信に満ちていることを肌で感じてきました。

先進国といわれている国でも、抱えている問題は日本と大差ありません。性別や世代を越えて、まず身近な活動から手を携えていける社会にしていきたいと思っています。

「意見文」入賞者決まる

10月10日号で募集した、「男女共同参画社会づくり意見文」へのご応募ありがとうございました。次の人たちが入選されました。「感謝の心を忘れずに」

宇賀神啓子さん(板荷) 「スポーツ団体として」

大野 ミチさん(御成橋町)

第18回「市民のつどい」盛大に開催

1月19日(土)、市民文化センターにおいて、鹿沼市女性団体連絡協議会と鹿沼市が主催する「男女共同参画社会をめざすかぬま市民のつどい」が開催されました。

テーマは「進んでいますか? ジェンダーフリー」で、寸劇・爆笑「女の一生男の一生」上演等の後、パネルディスカッションが行われました。パネリストは豊田孝一さん、箕ヶみさん、斎藤雅世さん。女性問題研究家西山恵美子先生のコーディネートで、男女共同参画を家庭で地域で進めるためにいかにすべきかを、深く考えることができた有意義な「つどい」でした。

●ひとくちメモ●

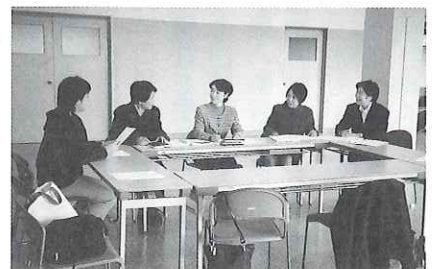
DV防止法



DV防止法は、正式には「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」です。

配偶者からの暴力は、犯罪となる行為であるにもかかわらず、被害者の救済が十分には行われてきませんでした。また、女性が被害者になることが多く、それが、男女平等の実現の妨げにもなっていたのです。そこで、夫や恋人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV)防止と被害者の保護を規定した法律が、平成13年10月13日から施行されました。

編集後記



▲編集会議ではいろいろなアイデアが生まれます。

人は世につれ、世は人につれ。参加から参画へと繋げ、時代の流れと共に、20号を迎えました。

高橋 満子(日吉町)

人は世につれ、世は人につれ。参加から参画へと繋げ、時代の流れと共に、20号を迎えました。

塩入 佳子(天神町)

確かな視点を持ち、市民のみなさんに何かが伝わるよう、努力していきたいと思えます。

関口 直美(村井町)

広報紙に載せる文章は、1字1字注意を重ね吟味され、生み出されるものなのだと思います。

高橋 京子(池ノ森)

文章伝達の重大さ・難しさ。今後とも私ができるボランティアを続けていきたいです。

板橋 和子(上日回)